

次の総選挙で政権交代を

共産志位氏と、立憲小沢氏が力説

BS番組で

日本共産党の志位和夫委員長は9月24日夜、立憲民主党の小沢一郎衆院議員とともにBS-TBS番組「報道1930」に出演し、次の総選挙で政権交代を実現する決意を表明しました。



志位和夫 日本共産党委員長



立憲民主党
小沢一郎

BS-TBSから

番組で、菅義偉政権と対峙(たいじ)する野党共闘と政権交代に対する考え方を問われ、小沢氏と志位氏は、それぞれ次のように答えました。

小沢氏 —— 「野党は次の総選挙で政権を取り、われわれの主張を実現する。それが『次の次の選挙でもいい』ということでは国民は受け入れない」「議会政治の本質からいっても、国民の期待感からいっても、絶対、次の選挙で政権を取るんだと強く主張しなければいけない」

志位氏 —— 「小沢さんの発言は当然だと思います。野党として、次の総選挙で政権交代を実現する。この本気度を示してこそ、国民は真剣に耳を傾けてくれる」、「魅力ある政策を打ち出す重要性を指摘するとともに)政策を出したとしても、それを実行する政権を取るというものがなければ本気度は伝わらない」「『政策を実現する政権を今度の総選挙でつくる』という本気度を示さなかったら、何のための野党かということを言いたい」

番組で、さらに志位氏は「もう一つの本気度のポイントがある」とのべ、「それは共産党を含めて野党が力を合わせて連合政権をつくるということです。そこを踏み切ってほしい。その政治決断をやってほしい」と訴え。「これを宣言して、『政権が実行する公約はこうですよ』と打ち出したら、国民に必ず響く」と強調しました。また「政権を取って何をしたい

のか」との視聴者からの質問に答え、小沢氏は、雇用や年金、医療、中小・零細企業、農業への支援などを提示。志位氏は、これに賛意を示したうえで、少人数学級の実現や消費税の5%への減税を加えて訴えました。

詳しい内容はこちらから→
ぜひ、ごらんください



参議院議員(東京選挙区選出)

やまぞえ・たく

山添拓

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2020年9・10月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

次の総選挙で政権交代を

共産志位氏と、立憲小沢氏が力説

BS番組で

日本共産党の志位和夫委員長は9月24日夜、立憲民主党の小沢一郎衆院議員とともにBS-TBS番組「報道1930」に出演し、次の総選挙で政権交代を実現する決意を表明しました。



志位和夫 日本共産党委員長

BS-TBSから



立憲民主党 小沢一郎

番組で、菅義偉政権と対峙(たいじ)する野党共闘と政権交代に対する考え方を問われ、小沢氏と志位氏は、それぞれ次のように答えました。

小沢氏 —— 「野党は次の総選挙で政権を取り、われわれの主張を実現する。それが『次の次の選挙でもいい』ということでは国民は受け入れない」「議会政治の本質からいっても、国民の期待感からいっても、絶対、次の選挙で政権を取るんだと強く主張しなければいけない」

志位氏 —— 「小沢さんの発言は当然だと思います。野党として、次の総選挙で政権交代を実現する。この本気度を示してこそ、国民は真剣に耳を傾けてくれる」、「魅力ある政策を打ち出す重要性を指摘するとともに)政策を出したとしても、それを実行する政権を取るというものがなければ本気度は伝わらない」「『政策を実現する政権を今度の総選挙でつくる』という本気度を示さなかったら、何のための野党かということを知りたい」

番組で、さらに志位氏は「もう一つの本気度のポイントがある」とのべ、「それは共産党を含めて野党が力を合わせて連合政権をつくるということです。そこを踏み切ってほしい。その政治決断をやってほしい」と訴え。「これを宣言して、『政権が実行する公約はこうですよ』と打ち出したら、国民に必ず響く」と強調しました。また「政権を取って何をしたい

のか」との視聴者からの質問に答え、小沢氏は、雇用や年金、医療、中小・零細企業、農業への支援などを提示。志位氏は、これに賛意を示したうえで、少人数学級の実現や消費税の5%への減税を加えて訴えました。

詳しい内容はこちらから→
ぜひ、ごらんください



東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2020年9・10月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党